

半田市子ども読書活動推進計画(後期分)



(平成28年度～32年度)



「半田市子ども読書活動推進計画」とは…(計画策定の趣旨と経緯)

近年、情報メディアの発達・普及等子どもを取り巻く環境の変化などにより、子どもの「読書離れ」が進行し、その影響が懸念されています。このような中、本市は、子どもたちが自主的に読書をする習慣を身に付け、本との出会いや感動を通して知識を深め、豊かな感性を磨いていくことができるよう、平成23年3月に10年計画として「半田市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

本計画は、子ども読書活動を総合的かつ計画的に推進するための施策の方向性と具体的な取組みを示しており、これまで関係機関の連携のもと、計画に沿った取組みを行ってきました。

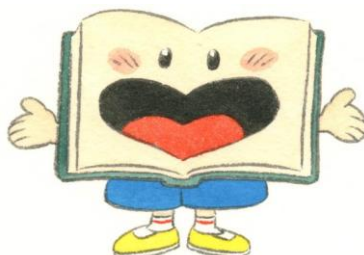
この度、策定から5年が経過したことに伴い、これまでの期間中の成果と課題等を整理するとともに、社会情勢や子どもの生活環境の変化を踏まえた上で計画を見直し、平成28年度からの後期5か年計画として新たにまとめました。

計画の位置づけ

平成13年に公布・施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」の第9条第2項には、地方公共団体が「子どもの読書活動に関する施策についての計画」を策定することが定められています。本計画はこの規定に基づき策定するもので、今後の施策の方向性と具体的な取組みを示すものと位置づけます。

計画の対象者

子ども
(概ね0歳から18歳)



計画の期間

5年間
(平成28年度～32年度)

成果

◎読書が好き、嫌いの割合

小学生		平成22年	平成27年
	好き		72.1%
嫌い		27.9%	15.9%

中学生		平成22年	平成27年
	好き		67.3%
嫌い		32.7%	27.9%

◎不読率（1か月に1冊も本を読まない子どもの割合）

	平成22年	平成27年
小学生	10.3%	7.4%
中学生	16.8%	11.3%

平成22年度の計画策定時と現在を比較してみると、小学生・中学生ともに「読書が好き」と回答した子どもが増加し、「読書が嫌い」と回答した子どもが減少しています。また、「不読率」についても、小学生・中学生ともに減少しており、読書活動の推進に着実に成果を上げてきたと考えられます。



このことから、今後もこれまでの基本方針・基本目標を継続していきます。

課題

アンケートの分析結果から、「読書が嫌い」な子どもは、小さい頃に読み聞かせをしてもらった経験が少なく、読書に対して「つまらない」「読みたい本が分からない」など苦手意識が強い傾向があることが分かりました。また、「読書が好き」な子どもでも、1か月に読む冊数は平均1～5冊で、読書活動が活発とまでは言えず、また、学年段階が上がるにつれて、「忙しい」を理由に読書離れしていく傾向があることが分かりました。



このことから、乳幼児期から成長過程に至る早い段階で、いかに読み聞かせなどのアプローチを行い、本の楽しさを実感させ、「読書が好き」と答えられる子どもを多く育てるかが重要な課題です。また、子どもの発達段階に応じた多様な読書活動の推進が必要です。

基本方針

1.子どもが読書に親しむ機会の提供

家族や地域、保育園・幼稚園・こども園、学校や市立図書館がそれぞれの役割を認識し、それぞれの立場で行っている活動や事業を充実させ、子どもが読書に親しむ機会を積極的に提供します。

2.子どもの読書環境の整備・充実

子どもがいつでもどこでも読書ができるよう、市立図書館や学校図書館等の資料や設備、制度の充実を図ります。

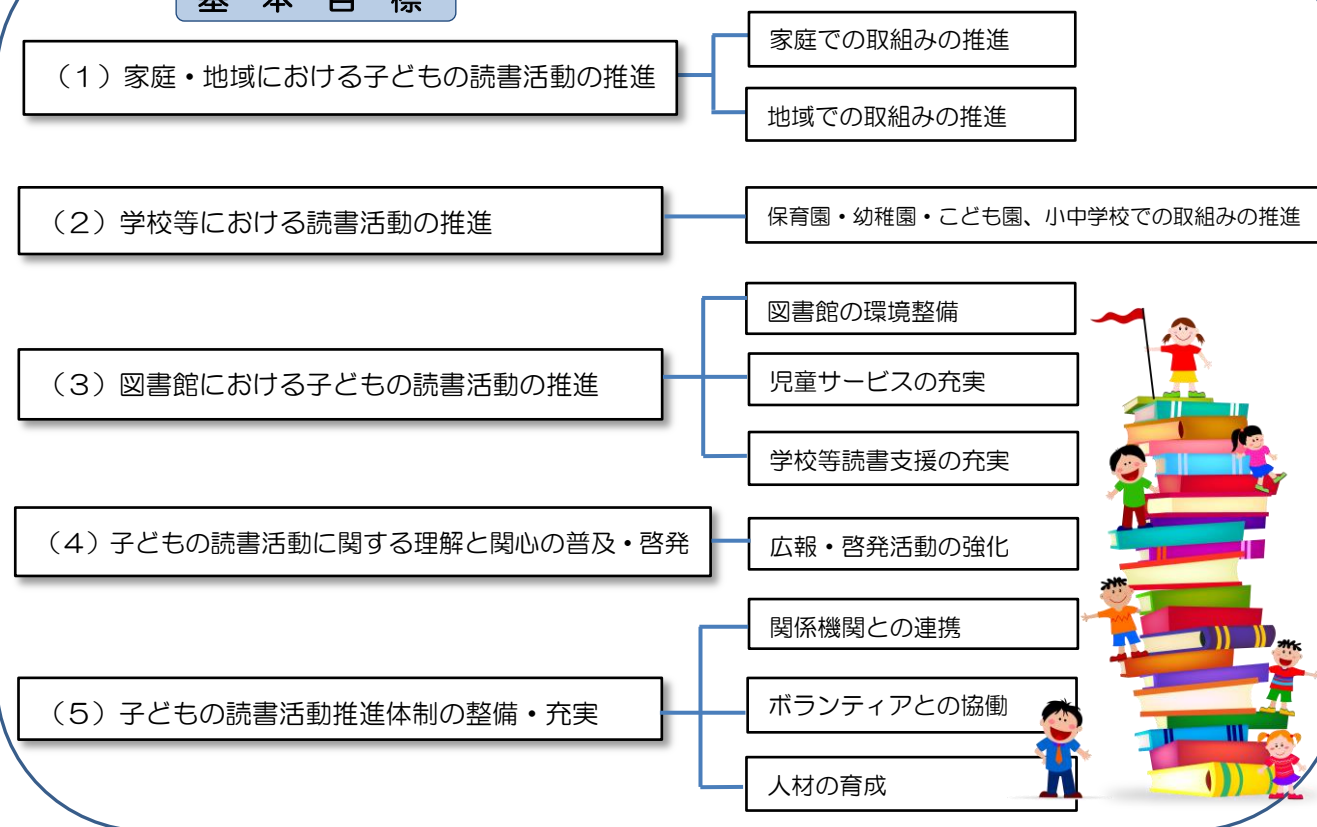
3.子どもの読書活動を進めるための連携・協力

子どもの読書活動に関わる関係機関、ボランティアなどが密接な連携を図り、相互に協力して社会全体としての子どもの読書活動を推進します。



基本目標

基本目標



計画を推進するための取組み

5つの基本目標を達成するため、それぞれの項目について取組みを進めていきます。

(1) 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

家庭での取組み

どの発達段階においても家庭の中で子どもと大人と一緒に読書を楽しむ時間を設け、それが継続して行われるよう保護者への啓発に努めます。

(具体的な取組み)

- ①乳幼児からの読み聞かせの啓発に努めます。
- ②子育て関連施設において乳幼児お薦め本リストを配布します。
- ③子どもの発達段階に合わせた絵本講座等を行い、保護者の家庭での読み聞かせを支援します。

地域での取組み

子どもが本と出会い、読書の楽しみを知る機会を多く持てるよう、子どもの生活に密着した地域の施設において、読書環境の充実を図ります。

(具体的な取組み)

- ①貸出文庫の本の充実と利用しやすい体制を構築します。
- ②各公共施設において、子どもや保護者に読書の楽しさを伝える機会を増やします。
- ③放課後児童クラブなど子どもに関わる地域施設に読書活動の重要性を呼びかけます。

(2) 学校等における読書活動の推進

保育士・幼児教育士・教諭が子ども読書活動に対する意義を理解するとともに、保護者や地域のボランティアと連携して、子どもが意欲的に読書活動に取り組める機会や環境を提供していきます。

(具体的な取組み)

- ①学校図書館の資料を充実するとともに、児童・生徒への利用指導を行います。
- ②「朝の読書」や高学年と低学年による「ペア読書」の実施など、学校における読書習慣の確立を図ります。
- ③保護者や地域との連携による読書活動の推進を行います。
- ④読み聞かせを積極的に行い、読書の楽しさを伝えます。

(3) 図書館における子どもの読書活動の推進

読書活動推進の拠点として、様々な事業を主体的に進めていくほか、一人でも多くの子どもが足を運んでくれるよう魅力ある図書館づくりや読書環境の整備に努めます。

(具体的な取組み)

- ①児童書の充実や、子ども向け読書案内・相談の充実など図書館の環境整備を図ります。
- ②司書体験などの行事の実施や読書通帳の配布など児童サービスの充実を図ります。
- ③巡回文庫やブックトーク、調べ学習ブックお届け便など学校読書支援の充実を図ります。

(4) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発

子育て時期の早い段階での読み聞かせの大切さや、成長期の読書が子どもに与える影響などについて、各種媒体による周知や関係機関への働きかけを通して広く啓発していきます

(具体的な取組み)

- ①「子ども読書の日」や「読書週間」におけるイベントの充実を図ります。
- ②関係機関へ「子ども読書活動推進計画」を配布し、意識啓発を図ります。
- ③子ども読書活動に関連する様々な取組みについて、情報収集し、広報します。
- ④市立図書館キャラクター「ブックくん」「しおりちゃん」をPRに活用します。



(5) 子どもの読書活動推進体制の整備・充実

子ども読書活動推進に向けた様々な施策や事業について、家庭や学校、関連施設、ボランティア団体と連携・協力し、市全体で取り組むことができるよう推進体制の整備・充実に努めます。

(具体的な取組み)

- ①教諭等との情報交換会や研修会の開催など関係機関との連携強化を図ります。
- ②ボランティア団体間の情報交換・連携体制の構築など、ボランティアとの協働を進めます。
- ③職員の専門研修への参加や、ボランティア養成講座の充実など人材の育成を図ります。

半田市子ども読書活動推進計画 後期分(平成28年度~32年度)

発行 半田市立図書館

〒475-0928 半田市桐ヶ丘4-209-1

TEL: 0569-23-7171 FAX: 0569-23-7174

E-mail: tosho@city.handa.lg.jp

